



令和 8 年度

「企業版ふるさと納税」のお願い

宮崎県日向市

目次

1 「宮崎県日向市」のご紹介P.1
2 企業版ふるさと納税制度の概要P.2
3 寄附企業様へ提供するベネフィットP.3
4 日向市の地方創生に向けた戦略P.4
5 注目プロジェクト	
(1) 市民共創！図書館複合施設整備事業プロジェクトP.5
(2) 三位一体の教育～ひゅうが学びの学校～P.6
(3) 日向市中小企業等支援事業P.7
(4) 日向市総合体育館整備事業P.8
(5) 日向の魅力プロモーション推進事業P.9
(6) 保育園留学・お試し滞在施設運用・移住プロモーションP.10
(7) 住宅セーフティネット支援事業P.11
(8) AIを活用した公共交通サービスP.12

「宮崎県日向市」のご紹介

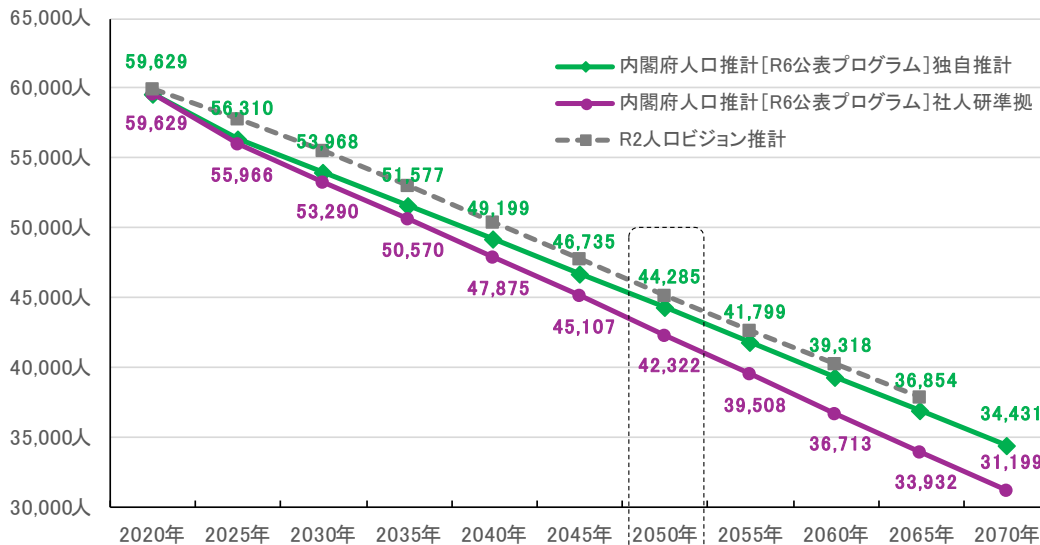
日向市の概要

当市は、宮崎県の北部に位置し、全国でも有数の温暖で晴天に恵まれた地域です。人口規模は、県内4番目で、東九州の扇の“かなめ”である重要港湾「細島港」を中心に、インフラ整備や産業集積等を進め、県内随一の港湾工業都市として発展してきました。市の魅力は、海・山・川の美しい自然、都会にはない“ゆっくり”と流れる時間、人間味あふれる温かな市民の皆さんです。

日向市の将来展望

社会保障・人口問題研究所の人口予測では、当市の**2050年の人口は、42,322人と推計**されており、今後、急速に人口減少が進むとともに、少子高齢化により生産年齢人口が減少し、産業や地域社会の担い手不足が懸念されます。

当市では「**2050年に人口44,000人を維持することを目標**」に、第3期日向市総合戦略に基づき、地方創生に取り組みます。



日向ひよとご踊り



日本の渚百選 お倉ヶ浜 遠望



重要港湾「細島港」



日向岬「馬ヶ背」

企業版ふるさと納税制度の概要

企業版ふるさと納税制度の概要

国が認定した地方創生プロジェクトに対して、企業が寄附を行った場合に、寄附額の最大6割を法人関係税から税額控除する仕組みです。損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、寄附額の最大約9割が軽減されます。

当市では、「第3期日向市総合戦略を包括的に地域再生計画として認定を受けており、同戦略の事業全てが対象」です。



内閣府「企業版ふるさと納税リーフレット」から抜粋

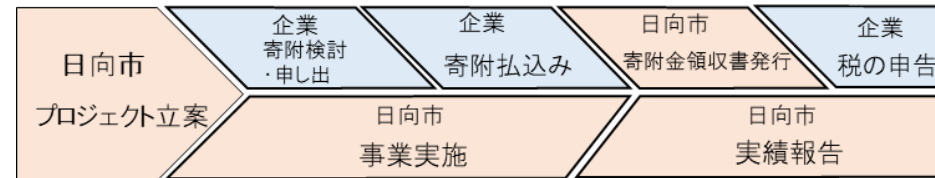
制度活用の流れ・留意事項

- 1回あたり10万円以上の寄附が対象です。
- 代償として経済的利益を受け取ることは禁止されています。
- 本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外です。
- 該当決算期の控除の対象にするには、最終月の末日までに寄附決済(振込など)が完了している必要があります。

企業の皆さまのメリット

- SDGsやESGへ寄与
- 寄附額に応じてベネフィットの提供（P.3参照）
- 法人関係税の大きな軽減効果
- 地方公共団体との新たなパートナーシップの構築
- 創業地等の地域への恩返し

制度活用の流れ



【問い合わせ・企業版ふるさと納税担当】

総合政策部 総合政策課 政策推進係

TEL 0982-66-1001

Mail sougou@hyugacity.jp

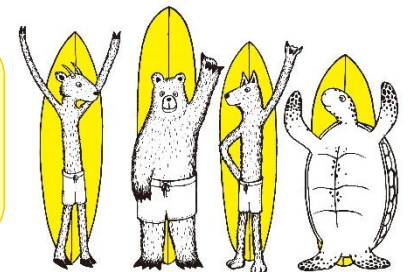


日向市HP

寄附企業様へ提供するベネフィット

	10万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円以上
贈呈式 (感謝状・目録等)	—	—	○
広報紙への掲載	—	○	○
市政記者クラブへの情報提供 (寄附額が公表可能な場合)	—	○	○
SNSでの公表 (ライン・フェイスブック・アプリ)	○	○	○
ホームページへの掲載	○ (企業名+HPリンク)	○ (企業名+HPリンク)	○ (企業名+HPリンク+企業コメント)

- 別途、事業ごとにご提案させていただくベネフィットもございます。
- 上記のほか、**1,000万円以上の寄附は、紺綬褒章の対象**として推薦いたします。



日向市の地方創生に向けた戦略

重点戦略

基本戦略1

安心して子どもを産み育てられるまちをつくる

基本戦略2

安定した雇用と稼ぐ地域をつくる

基本戦略3

地域資源を生かして新しい人の流れをつくる

基本戦略4

安全・安心で利便性の高いまちをつくる



基本目標

I 子育て・教育

次代を担う心豊かな子どもを育む、安心して産み育てられるまち

II 健康・福祉

みんなで支え合い、いきいきと暮らせる健康長寿のまち

III 産業・交流

活力とにぎわいにあふれ、交流が広がり、将来にわたって誇れるまち

IV 生活環境

人と地球に優しく、安全で安心して生活できる災害に強いまち

V 社会基盤

豊かな自然と調和し、快適で利便性の高いまち

VI 人権・市民協働

個性と多様性を認め合い、誰もが自分らしく幸せに暮らせる共生のまち

第3期日向市総合戦略において優先的かつ重点的に取り組む施策を「重点戦略」とし、地域ビジョンである「**子どもが故郷（ふるさと）に誇りを持てるまち、未来に希望をつなぐまち 日向**」を実現するために4つの基本戦略を推進します。



概要（背景、課題等）・目指す将来像

日向市では、令和8年3月に「日向市図書館複合施設整備基本構想」を策定しました。
新しい複合施設では、主なターゲットを子どもや若者、子育て世代と設定し、図書館機能を中心に、子育て支援機能、生涯学習・市民活動機能、カフェ・交流・くつろぎ空間の導入を予定しています。
昨年度に引き続き、市民のアイデアやニーズを生かした対話プロジェクト「日向ラボ・ラボ」に取り組み、市民一人ひとりが図書館をより身近に感じられるようなアイデアを積極的に取り入れながら、あらゆる世代にとって居心地のよい居場所「**市民が集まる ひなたリビング**」となるよう整備を進めていきます。

寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R8年度総事業費：25,800千円〉

【日向ラボ・ラボの実施】

- 市民や団体、企業、行政など、あらゆる立場の方々が意見交換を行います。
- 子どもや子育て世代を対象としたイベントを実施します。
- ワークショップや体験型プログラムを開催し、実践的な学びと創造の場を提供します。
- 新しい図書館複合施設の機能を具体化し、イメージ図（ゾーニング）を作成します。
- 中心市街地の回遊性向上や周辺施設との連携について検討します。

【ニーズ調査の実施】

- 若者や子ども、子育て世帯を対象としたアンケート、意見交換を実施します。

【日向市図書館複合施設整備基本計画の策定】

- 新しい図書館複合施設の具体的な事業・サービス、機能、運営の方向性を示します。

※新しい図書館複合施設の供用開始は、令和13年度を予定しています。

寄附を頂いた企業様へのご提案

- WebサイトやSNS等の情報発信
内容等は寄附後に調整させていただきます。

※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。
※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。



市民が集まる
ひなたリビング

～みんなの学びと創造、未来を育む自由な居場所～



ワークショップ



本箱づくり

【事業の担当】

総合政策部 総合政策課 図書館複合施設準備係
TEL 0982-66-1001 / FAX 0982-54-8747
Mail sougou@hyugacity.jp



概要（背景、課題等）・目指す将来像

日向市では、生きる力を備えた子どもの育成を目指し「キャリア教育」「義務教育9年間を見据えた系統的な学習」「地域とともにある学校づくりとしてのコミュニティ・スクールの推進」など、「幼保小連携」を含めた4つの柱で学校の教育活動の充実に取り組んでおります。中でもキャリア教育は、たくましく生きる力を備えた子どもの育成を図るための根幹をなすものであり、将来、自立した社会人・職業人となるために学校、家庭、地域、企業等が連携を深めながら一体となって取り組む必要があります。また、キャリア教育を通じて、日向市の自然や歴史、産業や文化を理解することで、それら愛する郷土愛の醸成についても期待ができる事業です。

寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R8年度総事業費：13,100千円〉

【キャリア教育推進事業の継続と活性化】

○ 『よのなか教室』及び『14歳のよのなか挑戦』の推進

市内各学校のニーズに応じたキャリア教育が実施できるよう、講師の派遣を行うとともに、よのなか先生の資質向上を図ります。また、市内中学校のニーズに応じたよのなか挑戦を実施するために、学校と協力事業所とのマッチングをサポートします。

日向学びの学校研修会において、キャリア教育に関する研修を行います。その中で、各学校のキャリア教育年間計画の見直しとキャリア教育支援センターの活用の位置づけを行うことで、キャリア教育の推進を図ります。

○ キャリア教育の推進に向けた市民や企業等への啓発、協力体制の構築

市民や企業に対して、キャリア教育の進捗状況、課題、期待される効果、さらに、企業等の事業参画の意義など、キャリア教育の目的や必要性について、各種情報ツールを活用して啓発を行います。



寄附を頂いた企業様へのご提案

- ホームページや報道等での企業名の掲載・紹介
キャリア教育支援センターで運営するホームページ等に企業名を掲載するほか、学校での授業の様子など、報道機関等に積極的にリリースし、その際企業名等を紹介させていただきます。
※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。
※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。

【事業の担当】

教育委員会 学校教育課 教育指導係

TEL0982-66-1037 / FAX0982-54-2189

Mail gakko@hyugacity.jp



概要（背景、課題等）・目指す将来像

日向市の中小企業・小規模事業者は、人口減少・高齢化に伴う人手不足や後継者不足、物価高騰への対応、販路開拓やデジタル化の遅れ等により、収益力の向上や事業継続力の確保が課題となっております。

日向市では、市内の中小企業・小規模事業者が抱える様々な課題の解決に向けて、プロ人材活用支援事業、人材育成支援事業、デジタル化支援事業等、各分野に対応した支援事業を展開し、市内事業者の収益力及び事業継続力の向上を支援しております。

寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R8年度総事業費：26,929千円〉

「日向市プロ人材活用支援事業」では、市内事業所が抱える様々な課題や悩みを、専門的なスキルや経験を持ち都市部で活躍するプロフェッショナル人材を活用して解決することを目的としております。

近年の変化の激しい経済環境の中で、柔軟かつ迅速に対応できる体制の確保は、企業の競争力を維持・向上させるうえで非常に重要な要素です。各事業所の課題解決に必要なノウハウやスキルを持ち、かつ、その企業風土に合った人材を見つけることは容易ではないことから、市では、皆さまが必要な人材をスムーズに確保できるよう、今回のプロ人材活用支援事業を通じて支援に取り組んでおります。

【これまでにこの事業に取り組んだ事業者からの声】

プロ人材の支援のもと、3か月で目標に達することができました。
現在は、次の目標を目指し、取り組みを始めたところです。

令和7年度中に実施した内容を日向市HPで紹介しています。
<https://www.hyugacity.jp/display.php?cont=260210090851>



寄附を頂いた企業様へのご提案

- WebサイトやSNS等での情報発信
内容等は寄附後に調整させていただきます。

※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。
※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。

【事業の担当】

経済戦略部 商工港湾課 中小企業振興係
TEL 0982-66-1025 / FAX 0982-54-2639
Mail syoukou@hyugacity.jp

基本戦略3
地域資源を生かして新しい人の流れをつくる

日向市総合体育館整備事業

～未来へ向かい あふれる笑顔で多世代がつながる海と緑に囲まれた“健康長寿・スポーツ推進”拠点～



現在の市体育センター及び武道館

概要（背景、課題等）・目指す将来像

現在の市体育センター及び武道館は、建設から55年が経過し、老朽化と耐震性の面から利用者の安全確保が急務となっています。また、厳しい財政状況や将来の人口減少を見据えた施設の複合化や多様化する市民ニーズへの対応も必要不可欠です。

これらの課題を解決するため、スポーツ推進と健康寿命の延伸を図る「健康増進の拠点」、災害時の避難生活を支える「防災・減災の拠点」、そして誰もが気軽に集える「交流の拠点」としての機能を併せ持つ新たな総合体育館の整備を行います。

寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R 8 年度総事業費：17億213万円〉

本施設の建設については、民間事業者の技術力とノウハウを生かす設計・施工を一括して発注するデザインビルド方式（DB方式）を採用しています。

スポーツをする機会が比較的少ない子育て世代や高齢者を含め、市民の誰もが魅力を感じ、安心して楽しく利用できる「憩いの場」を創出します。

令和8年度は「日向市総合体育館整備基本計画」に基づき、10月の供用開始に向けて建設工事及び関連整備に取り組みます。



令和8年5月時点（JVより提供）



バスケットボール（少年男女）競技が開催されます。

【事業の担当】

経済戦略部スポーツ振興課体育館建設係

TEL0982-66-1039 / FAX0982-54-2639

Mail spo@hyugacity.jp



概要（背景、課題等）・目指す将来像

日向市は、豊かな自然環境や歴史、温暖な気候といった多様な地域資源に恵まれています。しかし、少子高齢化による人口減少や若者・女性の市外流出などにより、地域経済の活力が低下しています。そのような中、第3向日向市総合計画に掲げる将来像「人と自然が響き合い、にぎわいあふれる共創のまち日向」の実現に向け、新しいコンセプト「世界でいちばん、休める街へ」を掲げ、5つのリラックス産業を育てます。また、シティプロモーションを通じて市民の地域に対する愛着や誇りを醸成するとともに、地域の魅力を広く発信し、関係人口や交流人口の創出を目指します。

寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R8年度総事業費：6,335千円〉

- 1) 観光・特産品PR推進事業
 - 県内外でのイベントの開催、特産品の販売促進活動（首都圏、宮崎市などを予定）
 - SNS等を活用したへべす等の特産品に関する情報発信
 - (仮称)ひゅうが魅力発信インフルエンサーを活用した認知度向上
 - 2) シティプロモーション事業
 - 市民参加型イベント等の開催によるインナープロモーションの継続的な推進
 - 市民団体等が主催するシティプロモーション推進事業に関する支援
 - 戦略的なクロスメディア発信（SNS広告、検索連動型広告、出版物とのタイアップ等）
- 本市のプロモーションに関する詳細はホームページで紹介しています。
<https://www.phew-hyuga.jp/>



寄附を頂いた企業様へのご提案

WebサイトやSNS等での情報発信
内容等は寄附後に調整させていただきます。

※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。
※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。

【事業の担当】

経済戦略部 ふるさとプロモーション課 プロモーション係
TEL 0982-66-1026 / FAX 0982-54-2639
Mail f_promotion@hyugacity.jp

基本戦略3

地域資源を生かして新しい人の流れをつくる

保育園留学事業・お試し滞在施設運用・移住プロモーション



概要（背景、課題等）・目指す将来像

日向市は人口減少が進み、若者の進学・就職による市外流出など「社会減」が課題です。移住相談体制や移住支援制度の充実でUIターンを促進し、社会減の抑制を図ることを第3期日向市総合戦略に掲げており、2050年（令和32年）の数値目標（人口44,000人）の達成を目指しています。



寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R8年度総事業費：13,626千円〉

子どもを安心して保育園に預けながら、日向市での生活を体験できる「保育園留学」は、子育て世代をターゲットとした新たな取り組みです。

あわせて、お仕事探しやお住まい探しなどの拠点として活用できる「お試し滞在施設」の運用にも取り組みます。

いずれも日向市を知っていただける機会の創出になるとともに、日向市の自然や人、暮らしを体験できる仕組みです。特に「保育園留学」においては、幼少期の異文化に触れる機会を提供することもできます。

また、都市部で開催される移住相談会への出展や日向市移住サイト「ヒュー！日向ヒュー！っと移住」等による情報発信などを行うことで、地方への移住を検討されている方への日向市への移住プロモーションを行います。



寄附を頂いた企業様へのご提案

- WebサイトやSNS等での情報発信
内容等は寄附後に調整させていただきます。

※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。
※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。

【事業の担当】

総合政策部総合政策課定住促進係

TEL 0982-66-1001/FAX0982-54-8747

Mail sougou@hyugacity.jp

基本戦略4
安全・安心で利便性の高いまちをつくる

住宅セーフティネット支援事業

～高齢者や障がいのある方、住まいの確保に不安を抱える方の「住まい」と「暮らし」を支える取組～



概要（背景、課題等）・目指す将来像

高齢者、障がいのある方、退院後に住まいが見つからない方、保証人がいない方など、住まいの確保に困難を抱える方は少なくありません。こうした相談には、住宅だけでなく、福祉、医療、地域との関わり方など複数の課題が重なっていることが多く、1つの機関だけで解決することが難しい現状があります。

そこで日向市では、住宅と福祉、行政と民間が連携する「日向市居住支援協議会」を中心に、住まいに関する相談窓口を整理し、必要な支援につなぐ体制づくりを進めています。

今後も関係機関・団体がそれぞれの強みを生かしながら連携し、住まいに困る方を必要な支援へつなぐ仕組みを充実させていきます。あわせて、公的賃貸住宅や民間賃貸住宅など地域の住宅ストックを活かし、誰もが安心して暮らせる環境づくりを目指します。

さらに、「住まい×防災」の視点から、災害時の住まいの施策や支援について、福祉・防災・民間企業等と連携して検討を進めます。

寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容）

〈R 8 年度総事業費：5,000千円〉

1) 住まいに困る方を支援につなぐ体制づくり

- 住まいに関する相談プラットフォームの強化
- 高齢者や障がいのある方、住まいに不安を抱える方に対応する相談窓口の充実
- 緊急的に住まいを必要とする方のための短期居住シェルターの充実

2) 必要な住まい・支援先を見つけやすくする環境づくり

- 協力不動産店・物件リストの作成
- 福祉・医療・生活支援のつなぎ先リストの作成
- 支援者・相談者双方に役立つ居住支援ガイドブックの作成
- 災害時を見据えた住まい支援の検討



寄附を頂いた企業様へのご提案

- WebサイトやSNS等での情報発信
内容等は寄附後に調整させていただきます。
- ※ 100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。
- ※ 基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。

【事業の担当】

建設部建築住宅課住宅政策係
TEL 0982-66-1032/FAX 0982-54-2639
Mail kenchiku@hyugacity.jp



基本戦略4
安全・安心で利便性の高いまちをつくる

AIを活用した公共交通サービスによる持続可能な地域づくり実現プロジェクト



概要（背景、課題等）・目指す将来像

日向市の市民バスは、市街地でも平日5便と利用が限られるため、利用者は、ピーク時の令和元年の81,096人から、令和6年には64,546人へと約20%減少しています。一方、燃料費高騰や人件費上昇の影響で、収支率が悪化しており、現状の固定路線でのバスの増便は難しい状況です。

車を運転できない高齢者や中高生からは利便性の高い公共交通の導入が望まれているため、市民バスの課題を解消し、乗車リクエストに応じてAIが最適経路をリアルタイムで設定するA I オンデマンド交通を導入します。

このことにより、乗換え負担や交通空白時間の解消、観光地アクセス強化にも貢献する持続可能な公共交通を実現し、「住み続けたいまち日向」を目指します。

寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R 8 年度総事業費：59,447千円〉

【A I オンデマンドバスの運行】

市街地エリアにAIオンデマンドバスの実証運行を行うとともに車いす対応の福祉車両を導入します。

また、AIオンデマンドバスの運行システムを活用した貨客混載の実証運行も行います。

【特徴】

スマートフォンや電話による運行予約とA I を活用した最適ルート設定により、ダイヤにとらわれずに、必要な時に必要な場所へ移動することが可能になります。また、バスの待ち時間を減らすことができるとともに、スマートフォン上で予約したバスの運行状況を把握することができるので、バス待ちの際の不安を解消できます。

【効果】

「移動したい人」が「行きたい時」に「行きたい場所」に移動できる」ことが可能となり、自動車を運転できない高齢者や障がい者の移動の利便性向上が図られます。また、子どもの送迎にも活用でき、子育てしやすい環境づくりにもつながります。このような公共交通の環境整備により、「住み続けたいまち」づくりに取り組みます。



寄附を頂いた企業様へのご提案

○オンデマンドバスへの企業名の掲載

市内を1日中循環するオンデマンドバスに寄附企業のPRができます。

○オンデマンドバス（予約案内）HPに寄附企業の掲載

この交通に関心のある方に寄附企業のPRが可能になります。

※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。

※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。

【事業の担当】

建設部 都市政策課 総務・交通係

Tel 0982-66-1030 / FAX 0982-54-2639

Mail toshi@hyugacity.jp